名高通信

No. 135 令和元年９月 30 日号

編集発行　北海道名寄高等学校ＰＴＡ広報委員会
印　　刷　有限会社　喜多印刷

名寄高校　検索

名高 HP
http://www.nayoro.hokkaido-c.ed.jp

名高 HP
QR コード

令和の時代へ

ＰＴＡ会長　山﨑　巧繕

日増しに秋の深まりを感じる今日この頃、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日ごろより本校のＰＴＡ活動に対し深いご理解とご協力を賜り心より御礼を申し上げます。

４月の入学式から新入生を迎え半年が経とうとしています。５月より令和の時代になり期待と不安も多い事でしょう。そんな中、１年生は名高生としての生活にも慣れ、２年生は３年生の背中を追いながらも後輩を導き、３年生は学校全体のまとめ役として大いにリーダーシップを発揮し下級生の模範となり、日々の学習や部活動、学校行事など活気溢れる生徒たちの行動に接する度に、それぞれの目標に向かって頑張っている名高生を誇らしく思います。

「剛毅果断」、私の好きな言葉なのですが、とらえ方は色々あると思います。私は「何事にもひたむきに思い切り取り組む姿勢」というふうにとらえています。高校生活は３年しかありません。この３年間を悔いの残らないように過ごしてほしいのです。その為にも、何事にも全力で思い切って挑戦して下さい。その行動を先生方や我々親がしっかり支えていきます。社会に出たときに、この経験が必ず皆さんの糧になると信じているからです。皆さんが令和の時代で活躍する姿を思い浮かべながら結びとします。

ご挨拶

校　長　佐賀　　聡

４月の人事異動により、後志管内の共和高校からまいりました校長の佐賀でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

皆様には、日ごろから本校の教育活動に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。本校の伝統行事である「名高祭行灯行列」の際には、遅い時間にもかかわらず約７０名の保護者の方々にご協力をいただき、無事終了することができました。重ねて感謝申し上げます。

新年度も早いもので６ヶ月が経ちました。今年度は、新入生９９名を迎え、全校生徒３３８名での学校生活となっています。生徒たちは授業・講習・部活動・学校行事・ボランティア活動等に主体的に取り組み、いきいきと学校生活を送っています。

生徒が自立して働くこれからの社会は、「今まで通りでは通用しない」「正解が見えない（見えにくい）」社会であると言われています。このような社会で、幸せな人生をつかみとっていくためには、受け身ではなく、主体性をもち、多様な人々と協働しながら、納得する解を見いだしていく力が求められます。

本校では、校訓「集中之行」のもと、教育目標を（１）自ら学び　自ら考える（２）良識ある行動を（３）健康な心身を、の３点を柱として教育活動を推進しています。

また、現在の高校２年生から実施される「大学入学共通テスト」等、大学入試改革に対応した取組や今年度１年生から新たに実施している「総合的な探究の時間」等、知識だけではなく思考力・表現力・判断力・主体性を育成する取組を充実させています。

今後も、ＰＴＡの皆様のご支援ご協力をいただきながら、教職員一丸となって生徒の成長を後押しする指導と支援をしてまいります。今後とも、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。